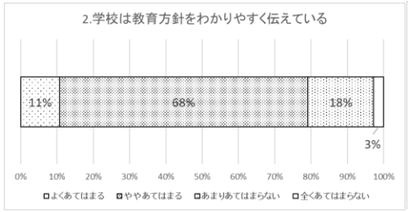
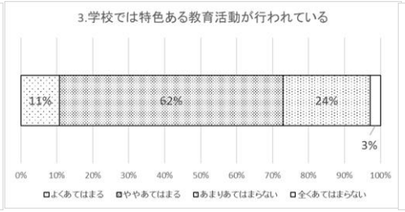
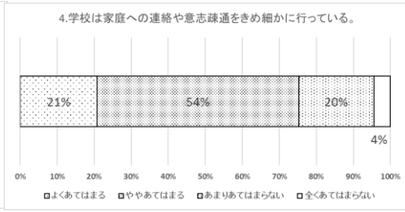
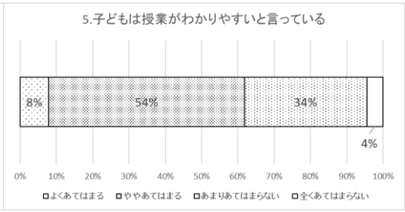
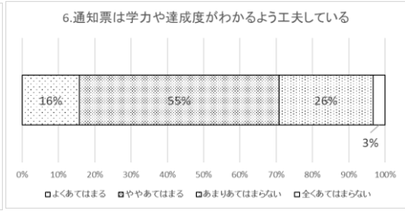
令和6年度 学校教育自己診断（保護者）結果　（回答率43%）

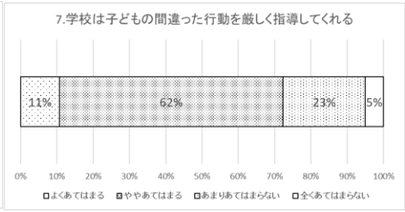


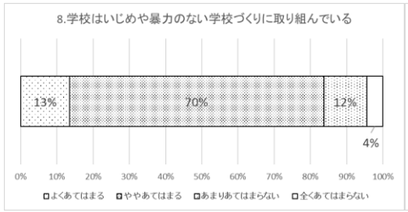


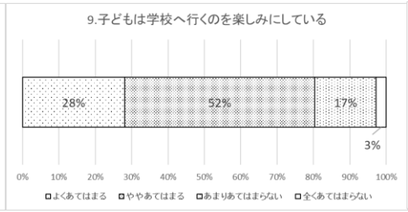


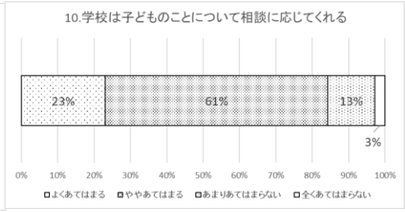


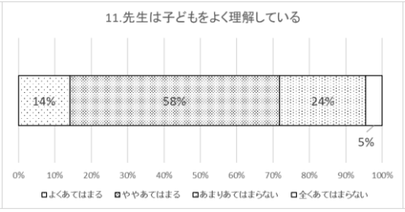


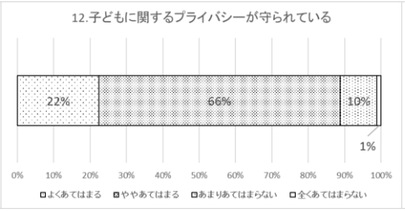


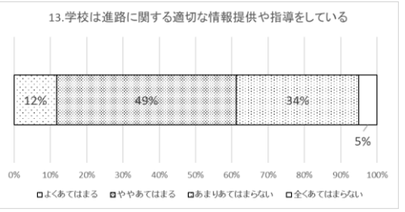


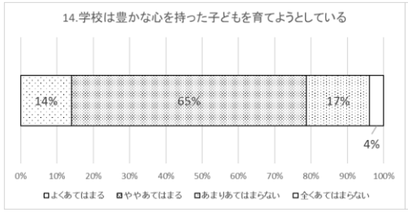


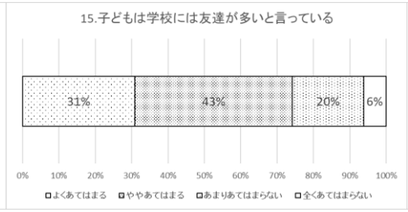


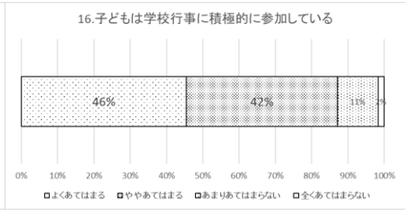


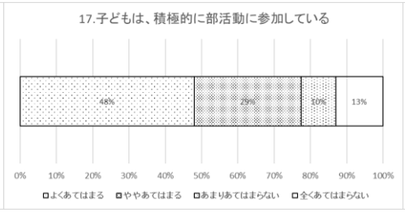


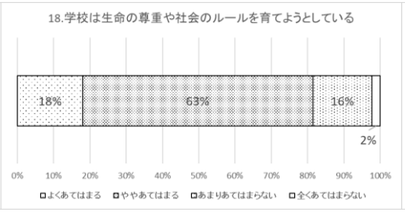


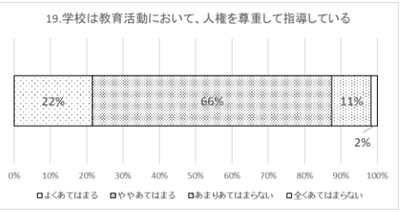


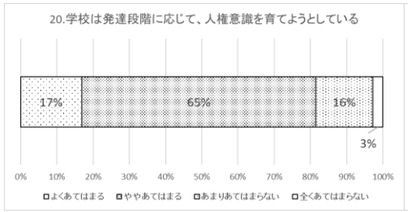


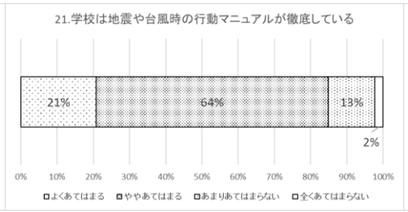


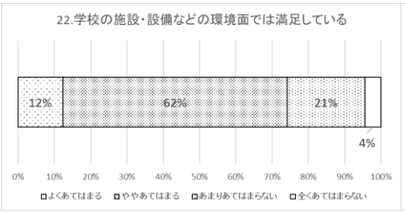


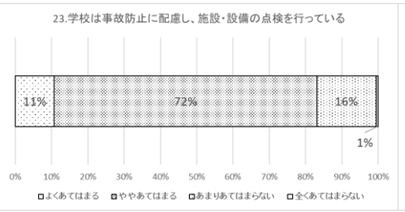


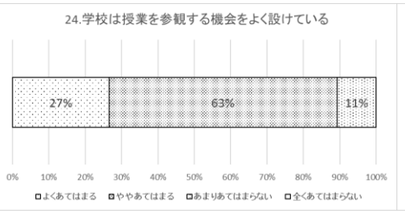


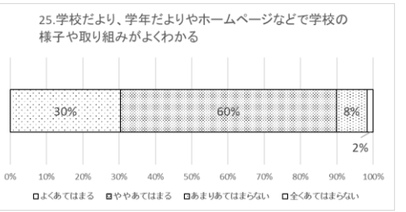


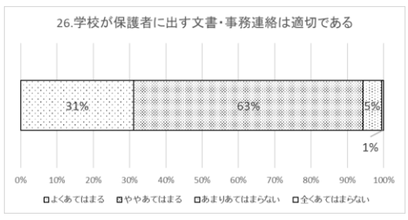


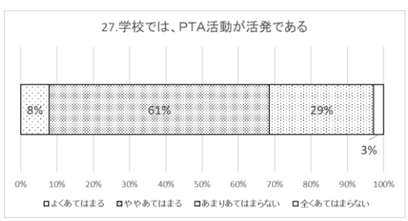












肯定的回答 85%以上の項目	R6	R5	R4
学校が保護者に出す文書・事務連絡は適切である	94	91	86
学校だより、学年だよりや HP などで学校の様子や取り組みがよくわかる	90	89	81
学校は授業を参観する機会をよく設けている。	89	77	34
子どもに関するプライバシーが守られている	89	91	88
学校は教育活動において、人権を尊重して指導している。	88	84	86
子どもは学校行事に積極的に参加している	87	86	88
学校は地震や台風時の行動マニュアルが徹底している	85	85	90

肯定的回答 70%未満の項目	R6	R5	R4
学校は進路に関する適切な情報提供や指導をしている	61	69	71
子どもは授業がわかりやすいと言っている	62	58	62
学校では、PTA活動が活発である。	69	75	74

さくら連絡網の運用も2年目となり、保護者様宛の文書がよりダイレクトに伝わっているとともに、学校ホームページでの校長ブログや各学年通信の頻繁な更新によって、保護者の皆様に学校の様子をつぶさに伝えられていることが分かりました。また、オープンスクールを定期的に開催できるようになったことで、行事以外で来校できる機会が増えたことも評価していただけていると感じています。本校の特徴である人権教育の取り組みへの理解も高まっていることは教職員の励みにもなっています。

一方で、進路に関する適切な情報提供という面では昨年度から改善できませんでした。学校ホームページでは進路だよりを各学年の学年だよりと同様に頻繁に更新しているところですが、改めて保護者の方のニーズを確かめながら情報発信に努めていきたいと考えています。また、授業の分かりやすさについては生徒の肯定的な意見が90%を超えていることと乖離が大きい結果となっていますので、その原因の検討を急ぎたいと思います。